



2025年3月発行 VOL.126

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌

2025年1月26日(日)に長崎県国際交流協会で、
日本文化体験教室「生け花体験～わたしの花」を開催しました！

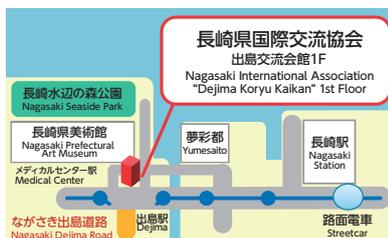
- 長崎県にお住まいの13名の外国人の方（ニュージーランド、ロシア、中国、ベトナム、韓国、ミャンマー、ラオス、カザフスタン、バングラデシュ）と、4名の日本人の方にご参加いただきました。
- はじめに、草月流理事の野口彩華さんから、花材やお道具、基本的な生け方について説明があり、通訳ボランティアの中野洋子さんが英語で通訳してくださいました。参加者には、フリースタイルの生け花に挑戦していただきました。同じ花材でも一つとして同じ作品はなく、また、大胆に生ける方、慎重に生ける方がおられ、生け花を通して皆さんの個性が見えてくるようでした。
- 参加者からは「想像していたより面白かった!」、「とても難しかったが、生け花について知ることができて良かった」、「先生や皆さんと楽しい時間を過ごせて嬉しかった」などの感想をいただきました。

イベントにご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



公益財団法人
長崎県国際交流協会
Nagasaki International Association

〒850-8062 長崎市出島町2番11号
TEL 095-823-3931/E-mail nia@nia.or.jp
[開館時間] 月～金曜日 9:00～17:30 ※祝日休館



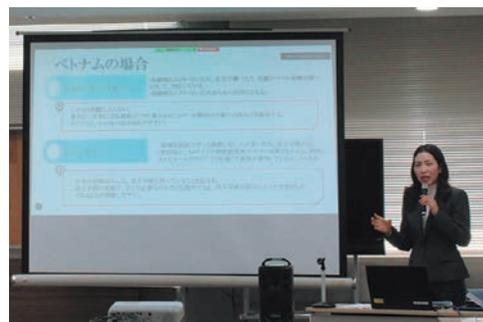
公式 HP

Facebook



2025年1月20日(月)に長崎市役所で、
多文化共生講座「子ども子育て支援の外国人住民対応のスキルアップ講座」を開催しました！

- 外国人住民に対する子育て支援について自治体の保健師らが学ぶ、スキルアップ講座を開催しました。在長崎ベトナム人協会副会長で、自身も子育て中のグエン・ティ・ハインさんが、外国人住民が日頃困っていることや支援して欲しいことなどについて講演しました。
- ハインさんは、母国のベトナムの子育て事情を交えながら、日本で生活する外国人は、主に言語、制度、文化・習慣の「壁」に直面すると説明し、保健師がどのように対応すればよいかをアドバイスしました。
- 受講生からは、「保健師として妊娠期の外国人住民と密接に関わることが多いが、母子保健の施策や取組みを上手に外国人へ伝えるためのいろいろな工夫やヒントを学ぶことが出来た。大変参考になった。」などの感想がありました。
- 本講座の受講者はオンラインを含めて45名でした。



外国人住民への伝え方のヒント

- ・外国人住民に送付する書類の、少なくともタイトルやキーワードに「ふりがな」があれば、漢字を読めない外国人でも、「ふりがな」からスマートフォンで検索することが出来る。大切な書類だとわかれば、まわりの人に聞くことができる。
- ・例えばベトナムには保健師の仕事や母子手帳がないので、いきなり本題には入らず、最初に保健師や母子手帳の役割について説明したうえで話を進めると内容が伝わりやすい。
- ・乳幼児健診や予防接種などは、日本人の子どもがみんな受けていることを伝えると、外国人住民は安心して子どもを受診させたり、接種を受けさせることができる。

2025年2月4日(火)に長崎県市町村会館で、
多文化共生講座「事例から学ぶ 増える外国人住民への市役所・町役場の対応」を開催しました！

- 行政職員などを対象に、外国人住民への対応を学ぶ講座を開催しました。講師の矢野花織さんは「日本語での対応のコツ」や「在留資格」、「知っておきたい制度やサービス」などについて講演しました。その後、ベトナム、ネパール、スリランカ、ニュージーランド、エジプトの各国出身の県内在住の外国人住民をゲストに迎え、トークセッションとワークショップを行いました。
- 講師の矢野さんは、行政職員が日常的に使う仕事の言葉は外国人住民にとって難しいため、専門用語はわかりやすい内容に置き換えた上でやさしい日本語で説明すると内容が伝わりやすいとアドバイスしました。
- 続いてのトークセッションには、ベトナム出身のハインさん、ネパール出身のタクルさんも登壇し、「日本語を上手に話す外国人住民が、必ずしも日本語の読み書きが出来るとは限らない。そのことを念頭に窓口対応をしてもらえると、外国人住民は大変助かる。」と受講者に語りました。最後に、5人の外国人住民に各グループに参加してもらい、日頃の仕事をテーマにワークショップを行い、講座を終えました。
- 受講者からは、「地震や台風などの際の行動や、宗教の関係で日頃から食べられないもの・出来ないことなどについて、外国人から直接、話を聞いたことが良かった」、「これまで、外国人対応と言えば、言語の面ばかり考えていたが、制度や文化の違いに思いを巡らすことが大切ということがわかった」などの感想がありました。あいにく降雪の影響ありましたが、本講座の受講者は22名でした。



自治体国際化協会 地域国際化推進
アドバイザーの矢野花織さん



長崎県内の地域日本語教室～やさしい日本語を使って～

長崎県及び長崎県国際交流協会では、多様なライフスタイルを持つ外国人住民の皆さんが、日本語を学びながら地域住民の方とつながりを持つことができるよう、地域日本語教室の設置に令和3年度から取り組んでいます。

現在、地域日本語教室は長崎県内の14市町にあり、各地で多様な活動が行われています（令和7年3月時点）。

地域日本語教室は、「日本語教室」という名称から、日本語母語話者の方が日本語を教え、外国人住民の方が日本語を教えられるという、学校の先生と生徒のような構図がイメージされやすいですが、教える・教えられるという関係ではなく、同じ立場で話ができる関係を目指しています。教室の多くは、グループで1つのテーマについて話をするサロンのような形式で活動しており、外国人住民の皆さんが会話を通して日本語を学ぶことはもちろん、お互いに知り合い、集まる居場所としての役割も持っています。

このようなスタイルの教室で主に使われている言葉が、「やさしい日本語」です。

少し前までは、「外国人と話をするには、英語を使わなければならない」という先入観があったかもしれませんが、しかし、現在日本で暮らす外国人住民の中には、簡単な日本語であれば話することができるという方が多くいらっしゃいます。

英語や外国語は苦手だけど、外国人住民の皆さんと話してみたい、知り合いになりたい、という方でも、「やさしい日本語」を使って誰でもご参加いただけますので、ぜひお近くの日本語教室に足をお運びください。

皆さまのご参加をお待ちしています！

【外国人が希望する情報発信言語】

やさしい日本語…76%

出典：文化庁「在留支援のための
やさしい日本語ガイドライン」

防災について



住んでいる町
について



◀県内の日本語教室に
関する情報はこちら



国の食べ物
について



やさしい日本語に関する取組のご報告 「新上五島町で国際交流しませんか？」

去る2月11日（火・祝）、新上五島町・有川総合文化センターにて、JICA デスク長崎との共催で国際交流イベントを開催しました。

イベントでは、始めに JICA 海外協力隊経験者の方から海外で自身が外国人として暮らした経験について、そして、新上五島町の国際交流員の方から母国と日本の違い等についてお話しいただき、参加者の皆さんに外国人住民の方の背景等について理解を深めていただきました。

その後、町内に住んでいる外国人住民の方と話をする際に活用できる言葉として、「やさしい日本語」について話をしました。

参加者の皆さんからは、「やさしい日本語は日常的に日本語を話す子ども等にもわかりやすいことがわかった！」「やさしい日本語の使い方をもっと勉強したい。」といった感想をいただきました。

イベントの様子



世界でキラリ★ JICA 海外協力隊



←赴任して間もない頃、首都サヌアの一角にある、旧市街で。旧市街は世界遺産となっています。

アッサラーム アレイコム

السلام عليكم

こんにちは (直訳: あなたが平和でありますように)

中本 勝也 (なかもと かつや) さん

【2005年(平成17年)2次隊 イエメン共和国 体操競技】
世界中で活躍する JICA 海外協力隊。
2005年からイエメン共和国で体操競技隊員として活躍した中本さんにお話をお聞きしました!



イエメン共和国は、かつて「幸福のアラビア」と呼ばれ、古代ローマ時代には交易の中心として栄えました。シバの女王の地としても有名であり、モカコーヒーの原産地でもあります。2年間生活した、首都のサヌアは標高約2,300mに位置します。



こんにちは、五島市出身の中本と申します。私は、大学卒業後、すぐに協力隊に参加しました。

大学生生活4度目の秋、私はたまたま大学に置いてあった協力隊の募集要項をパラパラめくってみると……、なんと専門の体操競技で募集しているのではないですか!元々海外に興味があった私は、これに行くしかない、タダで海外に行けて体操競技とも関りがもてる、最高だ、と思ったのでした。怒られるかもしれませんが、この頃の私には、国際協力という考えは、ほぼなかったように思います。しかし、青年海外協力協会(協力隊のOB/OG団体)の職員さんに背中を押してもらい、運よく隊員となれたのでした。

何の根拠もない若さゆえの自信だけを持って、意気揚々と派遣されたのは良かったのですが、社会人経験もなく、また、体操競技の指導経験もなかった私には、異文化を乗り越えての隊員活動の難しさは、予想の斜め上を行っていました。挫折した回数は、数知れず、時には途中帰国を考え、任地が嫌いになった時期もありましたし、泣きもしました。協力隊の2年間は、自分自身の弱さを嫌というほど思い知らされたのでした。でも、2年間の任期を全うできたのです。

それはなぜか。イエメン人、同期隊員、現地の JICA 事務所のスタッフ、つまりは周りの方々が私を支えてくれたからです。私は、生かされていたのです。このことに気づいたのは、帰国してからでした。いつも「かつや、かつや」と寄って来る生徒たち、「かつやさん、もっと勉強しなさい」と優しく叱ってくれた JICA 事務所のスタッフ、「かつちゃん、帰国したら飲み明かそうな」とイエメンがイスラム教国家で禁酒国であることを共に残念がった同期隊員。「いつものとこまででいいのかい」と声掛けしてくれたタクシーの運ちゃん。遅かった。みんなに、もっと、もっと、感謝を伝えなきゃいけないかった。大きな借りができました。少しずつでも返さなきゃ。

3年前にサラリーマンから NPO 九州海外協力協会に転職し、協力隊の募集事務局をさせていただきました。間接的だけれど、少しは恩を返すことができただろうか。そうだといいな。

「国際相互協力」、これは私が大好きな言葉です。



体操の練習の1コマ。主に子どもたちの指導をさせていただきました。



体操とは別に、女性スポーツセンターでもスポーツ指導の活動をさせていただきました。暗いのは、ラマダン中で活動が夜のためです。



女性スポーツセンターの子どもたち。みんな積極的に練習してくれました。

パラグアイから長崎県に技術研修に来られていた高橋さんをご紹介します。

初めまして、パラグアイから参りました。
高橋シンデイ沙也香と申します。
趣味は旅行と建築建物巡りです！



Q1. ご出身は？

南米のパラグアイの首都アスンシオン出身です。パラグアイは、スペイン語とグアラニ語の2つの公用語がある、世界でも珍しい国です。自然が豊かで、温かい人々がたくさんいる国です。「イグアスの滝」という世界的に有名な滝があります。また、暑い国なので、夏に欠かせない飲み物は「テレレ」という冷たいマテ茶です。これが暑さを和らげてくれて、夏バテ対策に最適です。主食はキャッサバなので色々な料理に使います。例えばチパやベジュは、タピオカ粉やチーズなどで作った名物料理です。

Q2. なぜ日本へ？

もともと祖父母が長崎県出身で、パラグアイの長崎県人会*のお陰で研修を受けることができました。チャンスがあれば建築一般の技術研修を受けたいと思い、勇気を出して応募しました。

Q3. 技術研修について教えてください！

研修では、専用のソフトを使って、建物の3Dモデルやパース図を作成しました。研修先の会社が設計した建物の見学のため、長崎市内の他、波佐見町や小浜、対馬、そして熊本市にも行きました。また、別府で開催された日本建築家協会主催のシンポジウムにも参加しました。

研修を通じて、日本での生活を初めて体験し、ビジネス日本語や建築の専門用語を学ぶことができました。また、日本の文化やマナーを守る大切さを知りました。今後、この研修の経験を活かし、色々なチャレンジや日本語の勉強ももっとしたいと思っています。これからも、日本とパラグアイの架け橋となれるよう頑張りたいと思います。

Q4. 滞在中に挑戦したこと

滞在中は、日本の有名建築建物巡りや名物料理を楽しみました。長崎県でしか出来ない体験や交流をしたいと思っていました。

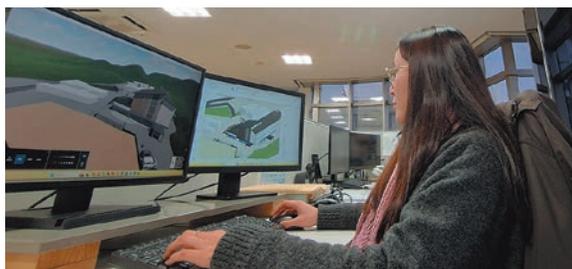
Q5. 長崎県民のみなさんへ一言お願いします！

長崎県民のみなさん、ぜひパラグアイに遊びにいらしてください！

長崎県とパラグアイのつながりが、これからも更に深まることを願っています。皆様のご訪問を心よりお待ちしております！



世界最大の滝、イグアスの滝



専用ソフトを使って建物の設計をしました



休暇中は、清水寺や厳島神社の建築建物を見学しました

パラグアイの長崎県人会について

- パラグアイにおける日本人の移住は1936年に遡り、今やパラグアイに居住する在留邦人及び日系人は推定約1万人に上ると言われています。移住者は、各県の出身者同士で県人会を結成しています。
- 長崎県人会は、長崎出身者が多く住むイグアスに事務所があり、約100人の会員がいます。昨年度は、サン・アグスティン学校で「長崎原爆投下79年平和祈念式典」を開催し、会員のほか、学生、教師、日本人コミュニティのメンバーが参加しました。12月の夏祭りでは、長崎の美食や文化などを紹介するとともに、ちゃんぽん、のり巻き、カステラを販売しました。

2024年度の日本とパラグアイ関連のニュース

- パラグアイとの外交関係樹立から105年
- 2024年12月、パラグアイのアスンシオンで開かれたユネスコの政府間委員会で、日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産への登録が決定。

協会からのお知らせ

！ 全国の外国人労働者数は、過去最多を更新し続けています！ ※2024年10月末時点



長崎県内の外国人労働者数は約1万1,000人を超え*、前年に比べて約2,400人増加しました。昨年度に比べて28.1%増加し、全国で最も高かったんですよ。

国籍別ではベトナムが最も多く、インドネシア、フィリピン、ネパールの方が急増しています。産業別では製造業が最も多く、雲仙では農業・林業、対馬や壱岐では医療・福祉に携わる方が多いんですよ。



外国の方とのコミュニケーションツールの紹介

あなたの周りに、お子さんが生まれる外国人の方や、外国人と関わる助産師さんや保健師さんはいませんか？

【NPO 法人 Mother's Tree Japan】

「指差しボード」など、イラスト入りで多言語に対応した便利なグッズがあります。日本語を話せない外国人ママとのコミュニケーション、出産時、産後健診、訪問時に体や心の状態や赤ちゃんのことを聞く際にご利用いただけます。

- バースプランシート
- 妊婦健診 note
- 指差しお産ボード
- 陣痛カード
- 産後健診訪問ボード（ママ用、支援者用）
- NICU ボード
- 妊娠・出産・産後動画



多言語音声翻訳アプリ「Voice Tra」を使って、外国の方とお話してみませんか？【(国研) 情報通信研究機構】

あなたや外国の方が話した内容を外国語に翻訳してくれる、無料のアプリです。

- 31言語に対応。
- シンプルなアプリの画面でガイドが表示されますので、簡単に使えます。
- 翻訳結果は、あなたの言語に翻訳されます。翻訳結果の正確性や意味をチェックできます。

翻訳精度の高い18言語
(英語の場合 TOEIC900点相当)

日本語	スペイン語
英語	ブラジルポルトガル語
中国語	フィリピン語
韓国語	アラビア語
タイ語	イタリア語
インドネシア語	ドイツ語
ベトナム語	ヒンディ語
ミャンマー語	ロシア語
フランス語	ウクライナ語

ボイストラ(VoiceTra)アプリ



外国人支援事業を応援して下さる賛助会員を募集しています！

賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

- | | |
|-----------|-----------------|
| 安達株式会社 | 扇精光ホールディングス株式会社 |
| ヤナセ産業株式会社 | 長崎県青果移出商業協同組合 |
| 東興産業株式会社 | |

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。